

## 参考資料 具体的な施策の評価

---

- 1 具体的な施策の評価（KPIの実績値の評価）
- 2 具体的な施策の主な取組みと成果

# 1 具体的な施策の評価（KPIの実績値の評価）

---

# 1 具体的な施策の評価（KPIの実績値の評価）

## 具体的な施策（ 魅力と活力あふれる大阪をつくる ） 大阪経済の活性化

具体的な施策	KPI	目標値	実績値	最新の実績に対する評価
大阪のビジネス環境の向上や大阪の強み・ポテンシャルのある分野等の成長促進  【進捗状況：順調】	本市の支援により本市域内への進出が有望と見込まれる国内外の企業等の発掘数	150社 (平成28～30年度)	109社 (平成28～29年度)	<u>引き続き目標達成に向けて着実に推進</u> 平成28年度 50社
	海外展開支援等により海外企業と成約につながった件数	110件 (平成29～31年度)	98件 (平成29年度)	<u>引き続き目標達成に向けて着実に推進</u>
	グローバル展開を見込まれるプロジェクト創出・推進支援件数	150件 (平成28～30年度)	111件 (平成28～29年度)	<u>引き続き目標達成に向けて着実に推進</u> 平成28年度 56件
	5年間の起業家育成プログラムによる新規創業件数	17社 (平成28(2016)～2020年度)	3社 (平成28～29年度)	<u>引き続き目標達成に向けて着実に推進</u> 平成28年度 0社 事業の内容に合わせ、KPIを「IoT・ロボット関連ビジネスにおける創業プログラムによる新規創業件数」で再設定
	大阪トップランナー育成事業の認定プロジェクトにおける新たな売上の創出	19億円 (平成29～31年度)	2.3億円 (平成29年度)	<u>引き続き目標達成に向けて着実に推進</u>
	クリエイティブ分野で協働による高付加価値製品・サービスの創出数	10件 (平成29～31年度)	3件 (平成29年度)	<u>引き続き目標達成に向けて着実に推進</u>
	大阪市立大学と本市との間のマッチング等を通じて行政課題解決の促進に効果があるもしくは見込めると回答した割合	80%以上 (平成29～31年度)	89% (平成29年度)	B <u>引き続き目標達成できるよう着実に推進</u>

# 1 具体的な施策の評価（KPIの実績値の評価）

## 具体的な施策（ 魅力と活力あふれる大阪をつくる ）（ つづき ） 大阪経済の活性化（ つづき ）

具体的な施策	KPI	目標値	実績値	最新の実績に対する評価
知的インフラの機能集積 や継続的なイノベーション 創出環境の構築  【進捗状況：順調】	大阪産業創造館の 支援事業による創業・起業件数	450件 (平成28～31年度)	230件 (平成28～29年度)	A <b>更なる高みをめざし目標を再設定</b> 目標値を「新大学の実現をめざした法人統 合に向けた取組の推進（平成30年度）」 で再設定
	市立大学の知的インフラ拠点として の機能強化	新大学設置に向け、府市及 び両大学による検討推進のため の枠組整備 (平成29年度)	・新大学設計4者 タスクフォース等における検討 ・法人統合議案を可決 (平成29年度)	
前向きに努力する中小 企業に対する経営力・ 技術力強化に向けた支援  【進捗状況：順調】	大阪産業創造館の支援事業により、 経営力強化・課題解決につながった と回答した企業数	580件 (平成28～31年度)	469社 (平成28～29年度)	<b>引き続き目標達成に向けて着実に推進</b> 平成28年度 241件
地域の実情や特性に 応じた中小企業への 支援  【進捗状況：順調】	近隣住民・来街者等の満足度が事業 実施前に比べ増加した 商店街の割合	80% (平成29年度)	83% (平成29年度)	B <b>引き続き目標達成できるよう着実に推進</b> 目標年度が到来したため、目標値を「80% (平成30年度)」で再設定
	中小企業への資金支援の実施	大阪信用保証協会等と 連携し、円滑な資金調達を 支援（毎年度）	関係機関と連携し、 制度融資を実施	B <b>引き続き目標達成できるよう着実に推進</b>
新たなエネルギー社会の 構築  【進捗状況：概ね順調】	太陽光発電（地産地消の推進） による導入容量	20万kW (2020年度)	11.3万kW (平成29年3月)	<b>引き続き目標達成に向けて着実に推進</b> 平成28年3月 10.4万kW

# 1 具体的な施策の評価（KPIの実績値の評価）

## 具体的な施策（ 魅力と活力あふれる大阪をつくる ）（つづき） 大阪経済の活性化（つづき）

具体的な施策	KPI	目標値	実績値	最新の実績に対する評価
うめきた2期開発促進 【進捗状況：概ね順調】	都市基盤整備の進捗率	約40% (平成31年度末)	約20% (平成29年度末)	引き続き目標達成に向けて着実に推進 平成29年度末の当初目標約20%
高速道路ネットワークの 充実 【進捗状況：順調】	渋滞の継続時間	現状値（平成27年度平均 阿波座付近 10.4時間/ 日）を下回る (2020年度)	未測定	実績値については、信濃橋JC完成予定の 2020年度以降に測定予定
鉄道ネットワークの充実 【進捗状況：概ね順調】	なにわ筋線の事業の進捗度	事業着手	なにわ筋線の整備主体・ 事業スキーム等について 府市意思決定	引き続き目標達成に向けて着実に推進 平成28年度 事業計画案の作成
国際コンテナ戦略港湾の 実現（集貨・創貨・ 競争力強化） 【進捗状況：やや遅れ】	阪神港の外貿コンテナ貨物量	590万TEU (2020年)	427万TEU (平成29年)	目標達成に向けて更なる取組みが必要 平成28年 409万TEU

# 1 具体的な施策の評価（KPIの実績値の評価）

## 具体的な施策（ 魅力と活力あふれる大阪をつくる ）（ つづき ） 都市魅力の創造・発信

具体的な施策	KPI	目標値	実績値	最新の実績に対する評価	
観光振興などの集客力強化の取組みによる地域・経済活性化  【進捗状況：順調】	万博誘致の取組みの推進	万博誘致の実現 （平成30年度）	B I Eへの立候補表明 ビッド・ドシエの提出 （平成29年度）		引き続き目標達成に向けて着実に推進
	戦略的なMICE誘致の推進	国際会議開催件数 340件 （2020年度）	国際会議開催件数 280件 （平成28年度）		引き続き目標達成に向けて着実に推進
	「大阪観光局」による 観光振興事業の推進	「大阪版DMO」事業等の 着実な推進 （平成29年度）	日本版DMO法人に 登録 （平成29年度）	B	引き続き目標達成できるよう着実に推進 目標年度が到来したため、目標値を「「大阪版DMO」事業等の着実な推進（毎年度）」で再設定
都市魅力関連施策等による大阪の魅力向上  【進捗状況：順調】	来阪外国人旅行者数 【再掲】	1,300万人 （2020年）	1,110万人 （平成29年）		引き続き目標達成に向けて着実に推進
	延べ宿泊者数（大阪）	3,600万人 （2020年）	3,321万人 （平成29年）		引き続き目標達成に向けて着実に推進
	来阪外国人旅行消費額	1兆1,900億円 （2020年）	1兆1,841億円 （平成29年）		引き続き目標達成に向けて着実に推進
	大阪市のまちなみ・景観に 満足していると答えた市民の割合	13.0% （平成30年）	未測定  参考 4.9%（平成25年）		平成30年の国の住生活総合調査の結果が公表される平成31年度以降に測定予定
空家等に関する対策の 推進  【進捗状況：概ね順調】	今後5年程度の空家の 活用意向がある所有者の割合	9割以上 （2020年度）	91.2% （平成30年）	B	引き続き目標達成できるよう着実に推進

# 1 具体的な施策の評価（KPIの実績値の評価）

## 具体的な施策（若者・女性が活躍できる社会をつくる） 就労支援と雇用の促進

具体的な施策	KPI	目標値	実績値	最新の実績に対する評価
若者・女性への就労支援 相談から就職までの支援 をトータルで行う総合相談  【進捗状況：概ね順調】	若者の就業率（15～34歳） 【再掲】	全国平均を上回る （平成31年）	63.2% （平成29年） 全国平均 64.0%	<u>引き続き目標達成に向けて着実に推進</u> 61.5%（平成28年） 全国平均 63.5%
	女性の就業率（25～54歳） 【再掲】	全国平均を上回る （平成31年）	72.1% （平成29年） 全国平均 75.3%	<u>目標達成に向けて更なる取組みが必要</u> 70.6%（平成28年） 全国平均 73.9%

## 女性の活躍促進

具体的な施策	KPI	目標値	実績値	最新の実績に対する評価
企業における女性の 活躍の促進  【進捗状況：概ね順調】	女性の管理職登用に取り組む 企業の割合	44% （2020年度）	26.6% （平成28年度）	<u>引き続き目標達成に向けて着実に推進</u> 平成26年度 23.1%
	女性の継続就労のために 実施しているワーク・ライフ・バランス 支援に取り組む企業の割合	84% （2020年度）	67.9% （平成28年度）	<u>引き続き目標達成に向けて着実に推進</u> 平成26年度 57.0%
地域における女性の 活躍の支援  【進捗状況：概ね順調】	指導的地位に占める女性の割合 （区政会議委員）	40% （2020年度）	42.6% （平成29年度）	B <u>引き続き目標達成できるよう着実に推進</u>

# 1 具体的な施策の評価（KPIの実績値の評価）

## 具体的な施策（若者・女性が活躍できる社会をつくる）（つづき）

すべての子どもの成長を社会全体で支える仕組みの充実

具体的な施策	KPI	目標値	実績値	最新の実績に対する評価	
幼児教育の無償化  【進捗状況：順調】	幼児教育の無償化に向けた取組みの実施	4・5歳児の 幼児教育無償化 （平成29年度）	4・5歳児の 幼児教育無償化実施 （平成29年度）	B	<u>引き続き目標達成できるよう着実に推進</u> 目標年度が到来したため、目標値を「4・5歳児の幼児教育無償化（平成30年度）」に再設定
	幼児教育の質の向上に向けた取組みの実施	研究・研修の実施園が 全園の80% （平成29年度中）	研究・研修の実施園が 全園の80.3% （平成29年度）	B	<u>引き続き目標達成できるよう着実に推進</u> 目標年度が到来したため、目標値を「研究・研修の実施園が全園の80%（平成30年度）」に再設定
安全で安心な妊娠・ 出産・育児の継続的 支援の充実  【進捗状況：やや遅れ】	保育所等利用保留児童数 【再掲】	解消 （平成30年4月）	2,503人 （平成30年4月）	A	<u>目標達成に向けて更なる取組みが必要</u> 平成29年4月 2,989人 目標年度が到来したため、目標値を「解消（平成31年4月）」に再設定
	合計特殊出生率 【再掲】	現状値 （平成25年1.21）を 上回る（毎年度）	1.21 （平成28年）	A	<u>目標達成に向けて更なる取組みが必要</u>
こどもの貧困対策の推進  【進捗状況：順調】	本市において重点的に取り組むべき 施策の検討	詳細な分析結果をもとに 課題整理、施策等を 検討・実施 （平成29年度）	「大阪市こどもの貧困対策 推進計画」を策定 （平成29年度）	A	<u>更なる高みをめざし目標を再設定</u> 目標値を「大阪市こどもの貧困対策推進 計画に基づき、各取組みの実績や進捗状 況を確認（毎年度）」に再設定
児童虐待防止体制の 強化  【進捗状況：順調】	こども相談センターの複数設置	北部こども相談センターの 基本設計 （平成29年度）	北部こども相談センターの 基本設計 （平成29年度）	B	<u>引き続き目標達成できるよう着実に推進</u> 目標年度が到来したため、目標値を「北部 こども相談センターの実施設計（平成30 年度）」に再設定



# 1 具体的な施策の評価（KPIの実績値の評価）

## 具体的な施策（若者・女性が活躍できる社会をつくる）（つづき） すべての子どもの成長を社会全体で支える仕組みの充実（つづき）

具体的な施策	KPI	目標値	実績値	最新の実績に対する評価
こどもたちの学びたい意欲と子育て支援の応援  <b>【進捗状況：順調】</b>	学習塾等の登録事業者数	2,400事業者 (平成29年度)	2,533事業者 (平成29年度)	A <b>更なる高みをめざし目標を再設定</b> 目標値を「2,500事業者（平成30年度）」で再設定
	「塾代助成カード」利用率	50% (平成29年度中)	61.1% (平成29年度中)	A <b>更なる高みをめざし目標を再設定</b> 目標年度が到来したため、目標値を「60%（平成30年度）」で再設定
子育て世帯等向け住宅施策の推進  <b>【進捗状況：概ね順調】</b>	大阪市の25～39歳の人口の5年後の増減率	0% (平成25年度末 平成30年度末)	未測定  参考 平成25年度末 平成29年度末 0.4% 平成24年度末 平成28年度末 -0.95%	5年後の増減率が明らかになる平成31年度に測定予定

# 1 具体的な施策の評価（KPIの実績値の評価）

## 具体的な施策（若者・女性が活躍できる社会をつくる）（つづき） 子どもや保護者の期待に応える学校づくり

具体的な施策	KPI	目標値	実績値	最新の実績に対する評価	
ICT学習環境を活用した教育の推進 【進捗状況：順調】	モデル校（通年実施）の児童生徒アンケートで「友達と一緒に考えたり、考えをまとめあったりしている」とする回答の割合	現状値 （平成26年度 80%）を上回る （毎年度）	84.6% （平成29年度）	B	引き続き目標達成できるよう着実に推進
学力向上を図るための学習支援の充実・教育環境の整備・安心できる学校づくり 【進捗状況：順調】	学校アンケートで「自校の学力の課題に応じた取組ができた」とする回答の割合	90% （毎年度）	小学校97.3% 中学校98.5% （平成29年度）	B	引き続き目標達成できるよう着実に推進
カリキュラムのイノベーション 【進捗状況：順調】	中学校卒業段階で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合	50% （2020年度）	52.2% （平成29年度）	B	引き続き目標達成できるよう着実に推進
学校教育の質の向上（マネジメント体制の強化） 【進捗状況：やや遅れ】	校長経営戦略支援予算により実施した取組の年度目標を達成した割合	現状値 （平成26年度 90%）を維持 （毎年度）	81.4% （平成29年度）	A	目標達成に向けて更なる取組が必要
学校図書館の活性化 【進捗状況：概ね順調】	全小・中学校において、昼休みや放課後等を活用した学校図書館の開館日数や回数	開館日数 全授業日（行事実施日等を除く。週当たりの開館回数は平均7回以上）（毎年度）	週当たり開館回数7回以上（週当たり開館回数の平均は小学校8.4回、中学校7.9回）（平成29年度）	B	引き続き目標達成できるよう着実に推進

# 1 具体的な施策の評価（KPIの実績値の評価）

## 具体的な施策（健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる） 市民生活の安全・安心の確保

具体的な施策	KPI	目標値	実績値	最新の実績に対する評価	
生活習慣病の予防の推進  【進捗状況：概ね順調】	健康寿命 〔再掲〕	平均寿命の伸びを上回る 健康寿命の伸び	健康寿命の伸び 男性 +1.02歳 女性 +0.77歳 平均寿命の伸び 男性 +1.22歳 女性 +1.01歳  〔参考〕平成22年 平成27年 健康寿命 男性76.12歳 77.14歳 健康寿命 女性81.86歳 82.63歳 平均寿命 男性77.65歳 78.87歳 平均寿命 女性85.38歳 86.39歳	A	目標達成に向けて更なる取組みが必要
地域包括ケアシステムの構築  【進捗状況：順調】	継続的な社会参加活動を行う 高齢者数	介護予防ポイント事業登録者のうち活動した登録者数 1,000名 (平成31年度末)	介護予防ポイント事業登録者のうち活動した登録者数 1,078名 (平成29年度末)	A	更なる高みをめざし目標を再設定 目標値を「介護予防ポイント事業登録者のうち活動した登録者数1,710名（平成30年度末）」で再設定
真に支援を必要とする人々のための取組み  【進捗状況：概ね順調】	必要性・緊急性の高い方が概ね1年以内に特別養護老人ホームに入所可能となるよう計画的に整備（整備数）	13,600床 (平成29年度末)	13,743床 (平成29年度末)	A	更なる高みをめざし目標を再設定 目標値を「特別養護老人ホーム整備目標定員数14,500床（2020年度）」で再設定
	認知症初期集中支援推進事業の支援件数	2,400件 (平成29年度末)	1,637件 (平成29年度末)	A	目標達成に向けて更なる取組みが必要 目標年度が到来したため、目標値を「2,400件（平成30年度末）」で再設定

# 1 具体的な施策の評価（KPIの実績値の評価）

## 具体的な施策（健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる）（つづき） 市民生活の安全・安心の確保（つづき）

具体的な施策	KPI	目標値	実績値	最新の実績に対する評価
災害に強い防災・減災のまちづくり  【進捗状況：－】	津波による人的被害想定（死者数）	約55,000人（平成29年度）	未測定	大阪市地域防災・アクションプランの評価結果をもって、平成30年度末に測定予定 目標年度が到来したため、目標値を「約2,000人（2024年度末）」で再設定
地域の実情に適った街頭犯罪抑止対策の推進  【進捗状況：概ね順調】	街頭犯罪5手口（ひったくり・路上強盗・自動車盗・車上ねらい・部品ねらい）の発生件数 【再掲】	現状値（平成27年7,881件）を下回る（毎年）	7,211件（平成29年）	B <u>引き続き目標達成できるよう着実に推進</u>
空家等に関する対策の推進  【進捗状況：順調】	特定空家等の解体や補修等による是正件数	年間60件以上（毎年度）	214件（平成29年度）	A <u>更なる高みをめざし目標を再設定</u> 大阪市空家等対策協議会における評価結果を踏まえ、平成30年度中に目標値を再設定

# 1 具体的な施策の評価（KPIの実績値の評価）

## 具体的な施策（健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる）（つづき）

地域の実情に即した特色ある施策の展開と地域コミュニティの活性化

具体的な施策	KPI	目標値	実績値	最新の実績に対する評価	
ICTなども含めたあらゆるチャンネルを活用した、「大きな公共」を支える担い手の拡大  【進捗状況：やや遅れ】	大阪市地域公共人材バンクの登録者の派遣区数	24区で派遣 (毎年度)	15区で派遣 (平成29年度末)	A	目標達成に向けて更なる取組みが必要
	ICTを活用した行政参画につながる取組件数	12件 (毎年度)	5件 (平成29年度)	A	目標達成に向けて更なる取組みが必要
多様な市民や団体の連携・協働に向けた地域社会におけるネットワークづくり  【進捗状況：やや遅れ】	本市事業を契機とした協働の取組の成立件数	15件 (毎年度)	6件 (平成29年度)	A	目標達成に向けて更なる取組みが必要
西成特区構想  【進捗状況：概ね順調】	プレーパークの1日平均来場者数	60人 (毎年度)	133人 (平成29年度)	A	更なる高みをめざし目標を再設定 目標値を「120人（毎年度）」で再設定
	あいりん地域の環境が良くなったと感じる区民の割合	60% (平成29年度末)	56.7% (平成29年度末)	A	目標達成に向けて更なる取組みが必要 目標年度が到来したため、目標値を「70%（2020年度末）」で再設定
地域の教育コミュニティの活性化  【進捗状況：概ね順調】	学校適正配置における適正化対象校のうち再編プランが確定した学校数	現状値 (平成26年度6校)を上回る (毎年度)	7校 (平成29年度)	B	引き続き目標達成できるよう着実に推進

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

---

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（ 魅力と活力あふれる大阪をつくる ） 大阪経済の活性化

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>大阪のビジネス環境の向上や大阪の強み・ポテンシャルのある分野等の成長促進</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【企業等の誘致・集積の推進、臨海部への企業誘致プロモーション】</b> ・重点産業分野等への投資が期待できる企業等へのアプローチ （面談企業数：227社）</p> <p><b>【海外ネットワークの充実と国際ビジネス交流の促進】</b> ・経済ミッション等の派遣（派遣先：4都市） ・海外商談会の開催（1件3社）や海外見本市出展支援（3社18件）</p> <p><b>【うめきたにおけるイノベーション創出に向けた取組みの推進】</b> ・イノベーション創出にかかるプログラムの実施（290本）</p> <p><b>【IoT・ロボット関連ビジネスの創出】</b> ・IoT・ロボット関連ビジネスに特化した創業プログラムの実施 （創業プログラム受講者：20チーム（44人））</p> <p><b>【新製品・サービスの事業化をめざす企業に対する支援】</b> ・実現性や成長性等が期待できるプロジェクトの発掘・認定 （新規認定件数：10件）</p> <p><b>【クリエイターのネットワーク拡大、高付加価値な製品・サービスの創出等の支援】</b> ・クリエイターの新規紹介や異業種企業とのマッチング （取引・連携に至った件数：373件）</p> <p><b>【市立大学が有する知見の活用やシンクタンク機能の発揮】</b> ・地域課題の解決に寄与する先端研究及び先進的な地域貢献活動の推進支援 ・市立大学との連携協力に関する基本協定に基づきマッチングを実施 （マッチングテーブルの実施に至った件数：15件）</p>	<p><b>【課題】</b> ・都市間競争が激化する中、国内外から人や投資等を呼び込むため、大阪の都市魅力を高め内外に発信する施策・事業の推進や大阪のビジネス環境の改善・向上を図っていく必要がある。 ・今後の経済成長を牽引し得るライフ・グリーン分野等における産学官の集積・連携などを通じ、さらなるイノベーション創出等につなげるとともに、本市として強み・ポテンシャルがあり成長が期待できる分野に対する施策の充実・強化を図る必要がある。</p> <p><b>【今後の対応方向】</b> ・引き続き、各取組みを着実に推進し、今後、躍進が見込まれる先導的な分野へと発展・成長させていくとともに、ビジネスが新たに創出・拡大される環境整備に取り組む。</p>
<p>知的インフラの機能集積や継続的なイノベーション創出環境の構築</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【大阪産業創造館における創業支援】</b> ・創業相談対応やニーズに応じたセミナーの開催 （創業相談への対応件数：1,480件）</p> <p><b>【市立大学の知的インフラ拠点としての機能強化】</b> ・府立大学との法人統合議案を可決（平成30年2月）</p>	<p><b>【課題】</b> ・地域経済に活力を生み出す新たな担い手の創出に向け、起業を促進し経済の新陳代謝の活発化を図る必要がある。</p> <p><b>【今後の対応方向】</b> ・引き続き、各取組みを着実に推進し、大阪ならではの多様な産業・人材の蓄積を活かしたイノベーションの創出に取り組む。</p>

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（ 魅力と活力あふれる大阪をつくる ）（ つづき ） 大阪経済の活性化（ つづき ）

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>前向きに努力する中小企業に対する経営力・技術力強化に向けた支援</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【大阪産業創造館における経営力強化の支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業ニーズに即応したプログラムの実施（経営相談への対応数：6,248件）（マッチング支援プログラムの開催回数：50回）</li> </ul> <p><b>【（地独）大阪産業技術研究所の強みを生かした製品開発支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な企業ニーズに応える受託研究の推進（受託研究及び簡易受託研究実施件数：1,006件）</li> </ul> <p><b>【新規展示会誘致】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規見本市・展示会の誘致（誘致件数：4件）</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪経済の主要な担い手である中小企業の経営基盤の強化や事業拡大等に向け、経営上の課題やニーズ等を的確に把握し各種支援策を着実に推進していく必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、各取組みを着実に推進し、中小企業の経営面、技術面の課題解決などの各種支援に取り組む。</li> </ul>
<p>地域の実情や特性に応じた中小企業への支援</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【地域の実情・特性に応じた商店街等への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街におけるアーケードや街路灯整備、マップ作成など補助</li> <li>・商店街団体と地域の人や団体とのネットワークづくり等の支援（6地域）</li> </ul> <p><b>【中小企業への資金支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪信用保証協会等と連携し、制度融資等の実施を通じて市内中小企業の円滑な資金調達を支援</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業が、地域経済の活性化に向け、地域の特性や実情に応じた事業活動等を展開していく必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、各取組みを着実に推進し、区役所等と連携しながら、地域に根ざす商店街の集客力強化やものづくり企業と地域との良好な環境づくりの支援に取り組む。</li> </ul>
<p>新たなエネルギー社会の構築</p> <p><b>【進捗状況：概ね順調】</b></p>	<p><b>【おおさかエネルギー地産地消推進プラン等に基づく取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市設建築物の「屋根貸し」による太陽光パネル設置促進事業の事業候補者の選定（導入予定設備容量：小中学校335施設 14MW）</li> <li>・太陽光発電の導入について、おおさかスマートエネルギーセンターでの市民・事業者からの相談受付・アドバイスを始め、市有施設への導入を促進</li> <li>・エネルギー面的利用の先行事例形成のための新たなインフラ整備モデルを創出（既存地下空間の有効活用）</li> <li>・国・有識者・大阪市で組織された地下水の有効利用に関する検討会議の開催</li> <li>・府市連携による水素エネルギー利活用拡大のためのプラットフォーム（H2Osakaビジョン推進会議）の運営</li> <li>・咲くやこの花館での業務・産業用燃料電池実証事業を創出</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の固定価格買取制度の調達価格見直しによる太陽光買取価格の低下で、今後の導入状況への影響が懸念される。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き市有施設への太陽光発電普及促進の取組みを進めるとともに、住宅用への導入を促進し、目標達成をめざす。</li> </ul>



## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（ 魅力と活力あふれる大阪をつくる ）（ つづき ） 大阪経済の活性化（ つづき ）

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>うめきた2期開発促進</p> <p><b>【進捗状況：概ね順調】</b></p>	<p><b>【鉄道地下化、新駅設置事業】</b> ・トンネル構造物構築等、全工区において工事を推進</p> <p><b>【土地区画整理事業】</b> ・九条梅田線迂回道路へ切替（平成29年11月） ・うめきた地下道出入口移設及び地下道の一部を地上通路へ振替（平成29年12月）</p> <p><b>【公園整備事業】</b> ・「みどり」の実現に向け、都市公園の提案も含んだ民間開発事業者の募集を開始（平成29年12月）</p> <p><b>【中核機能実現のための取組み・民間開発】</b> ・暫定利用事業の実施（18事業実施、約22万人来場） ・うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会を設立（平成29年6月） ・民間開発事業者の募集を開始（平成29年12月）</p>	<p><b>【課題】</b> ・基盤整備を円滑に進めるための財源確保が必要 ・民間開発のスケジュールの前提となる基盤整備の着実な推進</p> <p><b>【今後の対応方向】</b> ・財源確保に向けて、国家予算要望等を実施する。 ・引き続き関連事業間の工程調整等を実施し、円滑な事業進捗を図る。</p>
<p>高速道路ネットワークの充実</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【都市再生環状道路の整備】</b> ・淀川左岸線延伸部が国直轄事業と有料道路事業（阪神高速道路株式会社・NEXCO西日本）の合併施行方式にて事業化（平成29年4月）され、事業主体による基礎調査が円滑に進めることができるよう各種調整を実施 ・淀川左岸線（2期）において、河川占用許可手続きが完了し、本体工事に着手</p> <p><b>【高速道路ネットワーク整備（信濃橋渡り線）】</b> ・信濃橋渡り線の事業費に対する出資</p> <p><b>【シームレスな料金体系の導入】</b> ・新たな高速道路料金に関する国に対する提案を関係自治体と共同で実施（平成28年12月） ・国からの事業許可を得て、新料金導入（平成29年6月）</p>	<p><b>【課題】</b> ・高速道路ネットワークの着実な整備推進</p> <p><b>【今後の対応方向】</b> ・引き続き都市再生環状道路を含む高速道路ネットワークの整備を推進する。</p>

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（ 魅力と活力あふれる大阪をつくる ）（ つづき ） 大阪経済の活性化（ つづき ）

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
鉄道ネットワークの充実  <b>【進捗状況：概ね順調】</b>	<b>【なにわ筋線の早期整備】</b> ・なにわ筋線の整備主体・事業スキーム等について府市意思決定(平成29年9月)  <b>【リニア中央新幹線の整備促進】</b> ・国等への要望活動及びPR活動を実施	<b>【課題】</b> ・なにわ筋線の事業化にあたって、国の補助採択が必要。 ・リニア中央新幹線は、ルート・駅位置の確定及び着工・全線開業のための方策が必要。  <b>【今後の対応方向】</b> ・なにわ筋線は、2019年度補助採択に向けて引き続き国と協議を進め、事業計画の精査を行う。 ・リニア中央新幹線は、引き続き、関係者等との協議調整を進め、一日でも早いルート・駅位置の確定及び着工・全線開業をめざす。
国際コンテナ戦略港湾の実現（集貨・創貨・競争力強化）  <b>【進捗状況：やや遅れ】</b>	<b>【集貨（集貨事業の推進）】</b> ・神戸、大阪、東京、鹿児島、滋賀、クアラルンプール、バンコクの計7か所で阪神港の利用に関する説明会を実施（参加企業：延べ525社）  <b>【産業の立地促進による創貨】</b> ・新臨海部に関心を示す企業104社に対し、企業誘致活動実施 ・「大阪港 食の輸出セミナー & 商談会」の実施  <b>【競争力強化（港湾機能の強化に資する施設整備）】</b> ・主航路浚渫のための土砂処分場の護岸整備 ・C12岸壁延伸部の棧橋背後の埋立実施  <b>【競争力強化（コンテナ埠頭周辺の渋滞緩和施策の推進）】</b> ・港運事業者と協力し、ゲートオープン時間を延長	<b>【課題】</b> ・釜山港等でのトランシップが増加している影響で、阪神港がフィーダーポート化（世界のコンテナ幹線航路網から外れること）する恐れがあり、輸送日数の増加や輸送・在庫コストの増加による製品価格の上昇など、産業活動や市民生活に重大な影響を及ぼす可能性がある。  <b>【今後の対応方向】</b> ・阪神港でのさらなる取扱貨物量の増加を図るため、西日本及び東南アジア地域から貨物を集める「集貨」、新たな貨物の創出による「創貨」、および主航路やC12岸壁延伸の整備等による港湾施設の充実、ならびに渋滞対策等による効率的な物流体系の構築など「競争力強化」の取組みを引き続き推進する。

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（ 魅力と活力あふれる大阪をつくる ）（ つづき ） 都市魅力の創造・発信

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>観光振興などの集客力強化の取組みによる地域・経済活性化</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【2025日本万国博覧会の誘致に向けた取組み】</b>            ・立候補の閣議了解及び博覧会国際事務局（B I E）への立候補表明（平成29年4月）            ・ビッド・ドシエ（立候補申請文書）をB I Eへ提出（平成29年9月）</p> <p><b>【戦略的なMICE誘致】</b>            ・大阪MICE推進委員会の立ち上げ（平成29年5月）            ・「G20サミット」の誘致推進（2019年日本初開催）</p> <p><b>【「大阪観光局」による観光振興事業の推進（大阪版DMO）】</b>            ・日本版DMO法人に登録（平成29年11月）</p> <p><b>【大阪市版T I Dモデルの創出】</b>            ・「大阪市版T I D制度検討会」を開催し、モデルシミュレーション案の検討・作成</p> <p><b>【新たな観光拠点の形成に向けた夢洲まちづくり】</b>            ・「夢洲まちづくり構想」を策定（平成29年8月）</p> <p><b>【I Rの誘致に向けた取組み】</b>            ・府市共同の内部組織としてIR推進局を設置（平成29年4月）            ・大阪IR基本構想（案）・中間骨子取りまとめ（平成29年8月）</p>	<p><b>【課題】</b>            ・都市間競争が激化する中、国内外から人や投資等を呼び込むため、大阪の都市魅力を高め内外に発信していく必要がある。            ・また、関西経済の活性化に向けた万博誘致の取組みを進め、夢洲における国際観光拠点の形成などの経済波及効果の高いMICEの誘致や裾野の広い観光産業の振興などを戦略的に推進し、地域・経済の活性化につなげる必要がある。</p> <p><b>【今後の対応方向】</b>            ・万博誘致の推進、G20大阪サミットの開催支援、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を中心としたゴールデン・スポーツイヤーズに向けた取組み、来阪外国人旅行者の動向等を捉えた戦略的な観光振興・M I C E誘致などを通じて地域・経済活性化に取り組む。</p>
<p>都市魅力関連施策等による大阪の魅力向上</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【大阪城公園パークマネジメント】</b>            ・既存施設の改修（旧第四師団司令部庁舎）            「MIRAIZA OSAKA-JO」（平成29年10月開業）            ・新たな公園施設のオープン            「JO-TERRACE OSAKA」（平成29年6月開業）</p> <p><b>【豊臣石垣公開施設の整備】</b>            ・豊臣石垣公開施設の建築・展示の実施設計に着手</p> <p><b>【難波宮跡公園の整備】</b>            ・民活施設設置検討のためのマーケットサウンディングを実施</p>	<p><b>【課題】</b>            ・府市で取りまとめた「大阪都市魅力創造戦略2020」のもと取り組んでいる観光、文化、スポーツの各都市魅力関連施策等について、引き続き、民間活力を最大限に活かし着実に推進することにより、内外の集客力を強化していく必要がある。</p> <p><b>【今後の対応方向】</b>            ・引き続き、各取組みを着実に推進していくことにより、都市魅力関連施策などを通じて地域・経済活性化に取り組む。</p>

（次ページに続く）

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（ 魅力と活力あふれる大阪をつくる ）（ つづき ） 都市魅力の創造・発信（ つづき ）

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>都市魅力関連施策等による大阪の魅力向上</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【天王寺公園・動物園の魅力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間活力を導入した天王寺動物園ゲートエリア魅力向上事業の事業者を選定（平成29年11月）</li> <li>・動物園デッキの美装化や公園連絡橋の撤去による回遊性向上</li> <li>・民間活力を導入したエントランスエリアのにぎわい創出（平成29年度集客数：約420万人）</li> </ul> <p><b>【市立美術館の魅力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模改修に関する基本計画策定に向けた検討を実施</li> <li>・リニューアル後の展覧会の柱となる美術品の充実（補修）を実施</li> </ul> <p><b>【新美術館の整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計業務に着手</li> </ul> <p><b>【水と光のまちづくりの推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大阪・光の饗宴2017」の開催（来街者数：約1,367万人）</li> </ul> <p><b>【御堂筋の道路空間再編（側道の利活用）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル空間（千日前通以南）整備後の効果検証を実施</li> <li>・御堂筋完成80周年記念事業を実施</li> </ul> <p><b>【にぎわい創出の取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「御堂筋オータムパーティ2017」開催（来場者数：約48万人）</li> </ul> <p><b>【観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無電柱化工事の実施（芝川ビル周辺ほか 1か所）</li> </ul> <p><b>【“生きた建築”を通じた大阪の都市魅力の創造・発信】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2017」開催（平成29年10月 延べ約3万人参加）</li> </ul> <p><b>【大阪マラソンの開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回大阪マラソンの開催（平成29年11月）</li> <li>（大会当日出走：32,008人 大会当日コース沿道観衆：130万人）</li> </ul>	<p>(前ページのつづき)</p>

(次ページに続く)

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（ 魅力と活力あふれる大阪をつくる ）（ つづき ） 都市魅力の創造・発信（ つづき ）

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
空家等に関する対策の 推進  【進捗状況：概ね順調】	【空家の適正管理】 ・住吉区、東住吉区において有効な取組手法の構築に向けた調査を実施 ・啓発用冊子の作成 ・一部の区で空き家利活用のための先進的な取組みを実施	【課題】 ・一部の区で行なっている先進的な取組成果等を他の区にも推進していく必要がある。 【今後の方針】 ・引き続き、先進的な取組みを進めるとともに、その成果の共有を図り、他の区での展開を進める。

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（ 若者・女性が活躍できる社会をつくる ） 就労支援と雇用の促進

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>若者・女性への就労支援</p> <p>相談から就職までの支援をトータルで行う総合相談</p> <p><b>【進捗状況：概ね順調】</b></p>	<p><b>【若者・女性の就労等トータルサポート事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業相談から職場定着まで切れ目のない支援を実施</li> <li>・出張相談などアウトリーチによる事業を展開</li> <li>・若者に対し、キャリアデザインセミナー、合同企業説明会等の実施</li> <li>・女性に対し、仕事と家庭との両立支援やスキル向上のための講座を実施</li> </ul> <p>相談窓口業務の実績（平成30年3月末時点） 相談件数 27,547件 就職件数 2,946件</p>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依然若者の離職率は高く、再就職希望者等を中心に、自分に合った企業とのマッチング支援や、女性の就労支援については、M字カーブを改善するため仕事と家庭の両立などを支援する必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係行政機関、経済団体等と連携し、若者・女性が仕事と家庭の両立など働き続けられる職場環境づくりを進める企業等とのマッチング機会を提供するとともに、一人でも多くに情報が届くよう多様な媒体を活用し情報発信する。</li> </ul>

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（ 若者・女性が活躍できる社会をつくる ）（つづき） 女性の活躍促進

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>企業における女性の活躍の促進</p> <p>【進捗状況：概ね順調】</p>	<p>【企業における女性の活躍促進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市女性活躍リーディングカンパニーの認証（平成30年3月末：計359件）</li> <li>・認証制度を拡充、取組初期段階の中小企業を「チャレンジ企業」として認証し、取組推進に向けコンサルティング等を実施（平成30年3月末：101件）</li> <li>・リーディングカンパニー認証企業および認証を検討している企業を対象に、企業間情報交流のための「ネットワークフォーラム」開催（参加者数：のべ 83社、104人）</li> <li>・チャレンジ企業等の中小企業を対象に、先進事例等を学ぶ「チャレンジセミナー」を開催（参加者数：のべ22社、23人）</li> </ul>	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業における女性の管理職登用や継続就労に向けた取組みについて、中小企業の取組みが大企業ほどは進んでいない状況にある。</li> </ul> <p>【今後の対応方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業における女性活躍推進の取組みを促進していくため、引き続き、取組初期段階の意欲ある中小企業をチャレンジ企業として認証し、各社のニーズ・状況に応じた情報・ノウハウを提供、コンサルティングなど、きめの細かな支援を実施していく。</li> <li>・また、本市及び企業等の女性職員が参加し、官民協働により働く女性を支援する方策について検討を行った「大阪市女性活躍施策検討プロジェクトチーム」からの「トップが変わる！」「制度から変える！」「意識を変える」「子育て環境の充実！」といった提言（平成29年12月）を踏まえた、取組みを推進する。</li> </ul>
<p>地域における女性の活躍の促進</p> <p>【進捗状況：概ね順調】</p>	<p>【地域における女性の活躍支援の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性チャレンジ応援拠点の運営（平成29年1月の開設から平成30年3月末までの利用者数：1,395人）</li> <li>・ワークショップ（3回）、交流会（4回）、ミニサロン（14回）開催</li> <li>・ホームページ（女性活躍応援サイト）等においてロールモデルの事例紹介</li> </ul>	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性別役割分担意識を払拭し、女性がリーダー的な役割を果たすことの意義や重要性を地域住民に認識していただく必要がある。</li> <li>・意欲のある女性を支援する環境や仕組みを作る必要がある。</li> </ul> <p>【今後の対応方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の主要な担い手となる女性を育成・支援するため「女性チャレンジ応援拠点」の運営を継続する。</li> </ul>

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（ 若者・女性が活躍できる社会をつくる ）（ つづき ）

すべての子どもの成長を社会全体で支える仕組みの充実

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>幼児教育の無償化</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【幼児教育の無償化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4・5歳児を対象として幼稚園等の幼児教育無償化を実施</li> <li>・保育所等については、幼児教育相当分の無償化（約50%の負担軽減）を実施</li> <li>・保育・幼児教育センター開設（平成29年4月）</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育の質を保証し、向上させる仕組みと、幼児教育の機会を公平に提供する制度を構築する必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、3歳まで対象の拡大に取り組む。</li> <li>・引き続き、就学前教育カリキュラムの普及に努めるとともに、就学前教育カリキュラムの改訂に向けた準備業務に取り組む。</li> </ul>
<p>安全で安心な妊娠・ 出産・育児の継続的 支援の充実</p> <p><b>【進捗状況：やや遅れ】</b></p>	<p><b>【こども医療費助成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢拡充（15歳 18歳）（平成29年11月）</li> </ul> <p><b>【多子世帯及びひとり親世帯等への保護者負担の軽減】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となるひとり親世帯等の負担軽減措置を拡大</li> </ul> <p><b>【保育が必要となる全ての方の入所枠の確保】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認可保育所や地域型保育事業所などを整備（平成29年度実績4,745人）</li> </ul> <p><b>【保育人材確保緊急対策事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士・保育所支援センター設置（確保した保育士数160人）</li> <li>・保育士宿舍借り上げ支援の対象を採用後10年以内の保育士まで拡充(175件)</li> <li>・新規採用保育士特別給付に対する補助（361件）</li> </ul> <p><b>【地域型保育連携の取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・保育所等に訪問し連携支援の制度説明実施</li> <li>・地域型保育事業連携支援補助事業交付金に編み替えて交付要件を緩和</li> </ul> <p><b>【病児・病後児保育の取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに3か所で病児保育施設を開設（14か所 17か所）</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等の整備にあたり、市内中心部は、土地や賃貸物件の賃料が高額なため物件の確保が難しい。また、公募が不調になる（応札がない等）地域があり整備が進まない。</li> <li>・保育士確保競争が年々激化している。</li> <li>・保育人材の育成、ならびに対人援助者としての資質を高める必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年4月の保育を必要とするすべての児童の入所枠を確保するため、従来の手法にとられない特別対策を引き続き実施する。</li> <li>・平成29年度に実施した人材確保事業の検証を含め、さらなる保育士確保につながるための事業周知を行う。</li> </ul>



## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（若者・女性が活躍できる社会をつくる）（つづき） すべての子どもの成長を社会全体で支える仕組みの充実（つづき）

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>こどもの貧困対策の推進</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【こどもの貧困に対する取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生活に関する実態調査の速報値をもとに学習習慣の定着や居場所づくりなどの事業を先行実施</li> <li>・こどもの貧困対策推進本部会議において、実態調査の詳細分析に基づく課題と対応の方向性整理。そのうえで、区役所や関係部局が重点的に取り組む事業をとりまとめ</li> <li>・平成30(2018)年度から2022年度の5年間を計画期間とする「大阪市こどもの貧困対策推進計画」を策定（平成30年3月）</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各区、各局における事業の取組みの検証をする必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市こどもの貧困対策推進計画に基づき、各区・局が実施している取組みをとりまとめ、毎年実績や進捗状況の確認を行う。</li> </ul>
<p>児童虐待防止体制の強化</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【児童虐待防止体制の強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北部こども相談センター（仮称）の基本設計を実施</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待の発生を予防するとともに、可能な限り早期に発見し、個々の状況に応じた適切な支援につなげていく必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北部こども相談センター(仮称)の開設に向けた取組みを推進する。</li> <li>・関係機関が一体となって更なる児童虐待防止体制の強化に取り組む。</li> </ul>
<p>こどもたちの学びたい意欲と子育て支援の応援</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【塾代助成事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校外教育サービスに利用できる「塾代助成カード」を交付（月額1万円を上限に助成）</li> <li>・広報ツールとしてロゴマークを作成し、参画事業者にステッカーを配布（平成30年2月）</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録事業者数、カード利用率ともに順調に推移している。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き制度の円滑な運用に向けて取り組む。</li> </ul>
<p>子育て世帯等向け住宅施策の推進</p> <p><b>【進捗状況：概ね順調】</b></p>	<p><b>【新婚・子育て世帯の住宅取得の支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅購入融資に係る利子補給を実施（新規受付件数 2,625件）</li> </ul> <p><b>【子育て世帯等向け民間賃貸住宅の改修の促進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯等の入居に資する民間賃貸住宅の改修補助を実施（32戸）</li> </ul> <p><b>【子育てに配慮した良質なマンションの認定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育て安心マンション」の計画認定（1件98戸）</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯の市外転出に改善が見られるものの、いまだ転出傾向であるため、引き続き子育て世帯等を対象とした取組みを進める必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成に向けて効果的に各種施策を推進するため、補助事業者及び入居者のニーズ把握を行うとともに、事業者や関係団体等への制度周知や広報を強化する。</li> </ul>

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（ 若者・女性が活躍できる社会をつくる ）（ つづき ）

子どもや保護者の期待に応える学校づくり

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>ICT学習環境を活用した教育の推進</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【学校教育でのICT活用の取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した授業の実施</li> <li>・モデル校における実証研究の実施（小学校 18校、中学校 8校、施設一体型小中一貫校 3校）</li> <li>・全教員のICT活用指導力向上に向けた研修の実施（137回）</li> <li>・教員へのタブレット端末の貸出（タブレット10台×50名）</li> </ul> <p><b>【校内LANの再構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内LAN環境の拡充・整備（下見調査・設計142校、工事92校）とセキュリティの確保</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員のICT活用指導力の向上を図る必要がある。</li> <li>・モデル校の実践を踏まえ、「大阪市スタンダードモデル」を随時更新し充実を図る必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員に対しICT活用教科別研修を実施するとともに、「大阪市スタンダードモデル」を充実させ、実践事例や教材・資料等を教員に周知する。また、モデル校の実態把握を行い、実態に応じた研修やICT支援員の訪問等の支援を行う。</li> </ul>
<p>学力向上を図るための学習支援の充実・教育環境の整備・安心できる学校づくり</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【学校力UP支援事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校力UPチーフコラボレーターの配置（小・中学校合わせて8名）</li> <li>・学校力UPコラボレーターの配置（小・中学校合わせて35名）</li> <li>・大学・行政機関連携モデル校（9校）について、大学と連携し学力課題・学習環境問題の調査・分析等を実施</li> </ul> <p><b>【特色ある教育の実施】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携コーディネーター研修の実施（2回実施）</li> </ul> <p><b>【日本橋中学校区小中一貫教育校の設置】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本橋小中一貫校の開校（平成29年4月）</li> </ul> <p><b>【南港南中学校区小中一貫教育校の設置】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南港南中学校区小中一貫校の平成30年4月開校に向け建設・改修工事を実施</li> </ul> <p><b>【学校調理方式への移行】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期12校、2学期29校（累計63校）を学校調理方式へ移行</li> </ul> <p><b>【いじめ・不登校・児童虐待等防止の取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールソーシャルワーカー（11名）の派遣</li> </ul> <p><b>【個別指導教室】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導が必要な児童・生徒の立ち直り支援を実施</li> </ul> <p><b>【学校サポート事業（学校訪問等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校を訪問し、学校状況の把握及び支援を実施</li> </ul> <p><b>【小学校学力経年調査に基づく学習支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市小学校学力経年調査を実施</li> <li>・学習教材データ配信を実施</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校力UP支援事業の取組の強化を図るため、各学校の課題に応じて活用できる人材の確保及び配置の工夫を図る必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校力UPチーフコラボレーターによる学校長の聞き取り及び各支援校の効果検証に基づき、課題のさらなる明確化を図る。</li> </ul>

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（ 若者・女性が活躍できる社会をつくる ）（ つづき ） 子どもや保護者の期待に応える学校づくり（ つづき ）

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
カリキュラムのイノベーション  <b>【進捗状況：順調】</b>	<b>【学校活性化推進事業（英語イノベーション事業）】</b> ・小学校低学年からの英語教育を全小学校で開始 ・ネイティブ・スピーカーの小中高等学校配置（109人） ・英語を使って集中的に活動するイベントを実施	<b>【課題】</b> ・全市立小学校で効果的な英語教育の取組みを実施する必要がある。 ・児童生徒の英語力を育むためには、教員の英語力・指導力の向上を図る必要がある。  <b>【今後の対応方向】</b> ・英語教育の効果的な実施に向け、全市立小学校で取組みを開始し、訪問研修を実施する。また、教員の英語力向上のため、ネイティブスピーカーによる会話等の研修を行う。
学校教育の質の向上 （マネジメント体制の強化）  <b>【進捗状況：やや遅れ】</b>	<b>【「大阪市の授業のスタンダード」の策定（教育センターの機能充実）】</b> ・ポータルサイトを構築し、全教員が利用可能な環境を整備（平成29年4月） ・各校や教育研究会より指導案、実践事例、教材、資料、動画等のデータを収集、ポータルサイトへ掲載し、コンテンツを随時拡充（平成30年3月時点2918件） ・各校の学力向上アクションプランの作成支援  <b>【校長経営戦略支援予算】</b> ・基本配付予算拡充による校長権限の拡大 ・区担当教育次長執行枠による取組みの実施  <b>【国際バカロレア認定コースと特色あるコースをもつ学校設置】</b> ・指定管理法人の指定議決（平成29年5月） ・校名を大阪市立水都国際中学校・高等学校に決定（平成31年4月開校予定） ・国際バカロレア導入に向けた申請手続の実施	<b>【課題】</b> ・学校や地域、保護者により近い区役所がそのニーズや意向を的確に把握して、子育てやコミュニティ支援も含めた総合的な教育行政を推進できるよう、校長経営戦略支援予算など、区担当教育次長への分権化を進めていく必要がある。  <b>【今後の対応方向】</b> ・引き続き校長経営戦略支援予算の適正な運用に向け、各区役所が各校の取組みについてモニタリングを実施し、必要に応じて支援を行う。
学校図書館の活性化  <b>【進捗状況：概ね順調】</b>	<b>【学校図書館の活用推進】</b> ・学校図書館の図書整備（全小中学校で大阪市図書標準を達成） ・全小中学校に週1回、学校図書館補助員を配置 ・市立図書館に、学校図書館補助員コーディネーター、同チーフコーディネーターを配置	<b>【課題】</b> ・学校図書館の環境整備を維持するとともに、調べ学習など、授業での学校図書館活用の一層の推進を図り、学力向上につなげる必要がある。  <b>【今後の対応方向】</b> ・学校図書館補助員・コーディネーター等の配置継続。 ・学校図書館の具体的な活用事例の共有。

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる） 市民生活の安全・安心の確保

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>生活習慣病の予防の推進</p> <p><b>【進捗状況：概ね順調】</b></p>	<p><b>【生活習慣病重症化予防】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査等の結果に応じた受療勧奨（受療している者の割合64.2% 1,920人）</li> <li>・生活改善に向けた啓発</li> <li>・効果的なアプローチ実施に向けて手引き等を改訂</li> </ul> <p><b>【がん検診の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団検診（胃・大腸・肺）の休日開催（土曜41回 日・祝日66回）</li> <li>・平日夜間・休日を中心に、地域巡回型検診（乳がん検診）を実施（144回）</li> <li>・5大がん（胃、大腸、肺、子宮、乳）の個別受診勧奨</li> </ul> <p>すこやか大阪21（第2次）にかかる市民アンケートによるがん検診受診率          胃：男性35.2%女性28.5% 大腸：男性32.8%女性27.5%          肺：男性40.1%女性31.1% 子宮：女性33.6% 乳：女性31.0%          対象：胃・大腸・肺・乳は40歳以上、子宮は20歳以上</p>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病重症化予防については一定の効果が表れたが、がん検診については取組みの中で目標とする受診率に届いておらず、さらなる取組みを推進する必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市健康増進計画において、これまでの取組みの検証を行う。</li> <li>・がん検診受診率向上に向け、システムを活用し、他都市の好事例等を参考にしながら、引き続き受診勧奨を行う。</li> </ul>
<p>地域包括ケアシステムの構築</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【介護予防・日常生活支援総合事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な主体による通いの場等の生活支援・介護予防サービスの創出等を促進するため、生活支援コーディネーターを追加配置するとともに協議体を追加設置（8区24区）</li> <li>・介護予防ポイント事業の活動者数を増加させるため、関係団体等と連携した広報周知や活動登録者と受入登録施設とのマッチングを実施              【平成28年度 608人 平成29年度 1,078人】</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉サービスを含めた様々な生活支援サービスを日常生活圏域で適切に提供できる体制を構築する必要がある。</li> <li>・高齢者が主体的に介護予防に取り組むとともに、できる限り多くの高齢者が、地域で支援を必要とする高齢者の支え手となっていくことで、より良い地域づくりを進める必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、介護予防の推進を図ることを目的とし、介護予防・日常生活支援総合事業のうち、介護予防ポイント事業の活動者の増加に取り組んでいく。</li> </ul>

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる） 市民生活の安全・安心の確保（つづき）

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>真に支援を必要とする人々のための取組み</p> <p><b>【進捗状況：概ね順調】</b></p>	<p><b>【特別養護老人ホーム建設助成】</b> ・特別養護老人ホームの整備 計13,743床（平成29年度 1,471床を整備）</p> <p><b>【認知症初期集中支援推進事業】</b> ・認知症初期集中支援チームの活動日を平日に加え、土曜日まで広げ、働く家族への支援を強化 ・各区で認知症初期集中支援推進事業を実施する地域包括支援センターを認知症施策の推進拠点の役割を担う「認知症強化型地域包括支援センター」として位置付け、地域と連携して認知症高齢者等の発見力や認知症対応力の向上に向けた取組みを開始</p>	<p><b>【課題】</b> ・軽度認知障がいや認知症初期段階の場合、日常生活に大きな支障をきたさないことから、本人の気づきが遅れ、また家族や周囲の人々も現状を認めたくないという意識が働き、自発的な相談につながらないという課題がある。</p> <p><b>【今後の対応方向】</b> ・特別養護老人ホーム建設助成については、引き続き、第7期計画の整備目標数に向け、整備を進める。 ・認知症初期集中支援推進事業については、区広報紙や各種媒体の活用により、様々な機会を通じて認知症の相談窓口の更なる普及・啓発に努める。また、「認知症アプリ」の普及促進や、「認知症サポーター」の地域活動促進等により、認知症の理解や支援事業について、広く市民に周知を図る。 あわせて、認知症強化型地域包括支援センターとしての機能を発揮させ、地域課題を把握・分析し、それぞれの地域に応じた対応策を講じることにより、認知症の早期発見・早期診断の取組みを進める。</p>

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる） 市民生活の安全・安心の確保（つづき）

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>災害に強い防災・減災のまちづくり</p> <p><b>【進捗状況：－】</b></p> <p>進捗状況については、大阪市地域防災アクションプランの進捗評価（集中取組期間：H27～29）をもって、判断する。（H30.12実施予定）</p>	<p><b>【災害救助物資の備蓄の拡充】</b> ・南海トラフ巨大地震の想定避難所生活者数53万人3日分の備蓄に拡充し、食料約42万食、飲料水約68万本を追加備蓄</p> <p><b>【地下街管理者への補助】</b> ・地下街管理者が行う耐震補強工事等に対し国と協調して補助を実施（4か所）</p> <p><b>【地下駅への浸水防止設備の整備など】</b> ・地下駅の浸水対策事業に対し補助を実施（補助金交付箇所：地下駅1駅）</p> <p><b>【南海トラフ巨大地震に対する堤防等の耐震対策】</b> ・堤防の耐震・液状化対策工事を実施（工事延長 約1.8km）</p> <p><b>【南海トラフ巨大地震に対する橋梁等の耐震対策】</b> ・新木津川大橋の耐震基本設計の実施 ・津波の浮力・波力による橋の流出防止対策工事を実施（1橋）</p> <p><b>【密集住宅市街地重点整備事業による老朽住宅の建替・除却の促進】</b> ・老朽住宅の建替え・除却に対する補助（建替え 4件、除却 36戸）</p> <p><b>【地籍整備型土地区画整理事業を活用した土地利用更新環境の整備】</b> ・福島区においてモデル事業を完了（1件）、別地区で事業化の検討</p> <p><b>【沿道整備街路推進モデル事業による都市計画道路整備の促進】</b> ・三国東地区における用地買収手法を用いた延焼遮断空間の整備</p> <p><b>【密集市街地における防災・減災対策の推進に資する都市計画道路の整備】</b> ・防災上の骨格となる都市計画道路（防災骨格路線）の整備</p>	<p><b>【課題】</b> ・平成30年度末に測定される予定の最新の実績値を踏まえ方針の検討が必要 ・災害対策を円滑に進めるための財源確保が必要</p> <p><b>【今後の対応方向】</b> ・南海トラフ巨大地震の被害想定等を踏まえ、地震・津波等から住民の生命・財産を守るための対策に取り組む。 ・地下駅などにおける浸水対策や地下街などの防災対策等、公共的な地下空間における防災・減災対策を推進する。 ・府市連携して堤防・橋梁等の災害対策に取り組むとともに、事業費を確保するため国への要望活動を継続する。 ・密集住宅市街地整備について、重点整備プログラムに基づく目標の達成に向け、区役所と関係局で連携した重点的な取組みを実施する。</p>

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる） 市民生活の安全・安心の確保（つづき）

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>地域の実情に適った街頭 犯罪抑止対策の推進</p> <p><b>【進捗状況：概ね順調】</b></p>	<p><b>【防犯カメラの設置】</b> ・通学路等にカメラ350台を設置</p> <p><b>【地域安全対策業務の実施】</b> ・青色防犯パトロールを実施（指定9区で夜間パトロールを実施） ・キタ・ミナミの禁止区域での客引き行為等への指導を実施 ・客引き行為等が悪質化しているミナミ地区において、特命チームとして指導員を増員</p>	<p><b>【課題】</b> ・街頭犯罪5手口の中で、車上ねらい・部品ねらいが約9割を占めており、これらの犯罪防止の取組強化が必要 ・客引き行為者数は下げ止まっており、特にスカウト等の新たな業態の客引き行為等は巧妙化・悪質化しており、より一層厳格に対応する必要がある。</p> <p><b>【今後の対応方向】</b> ・車上ねらい・部品ねらいへの対策を強化するとともに、引き続き、子どものための「見守りメラ」の設置を進め、防犯パトロールや悪質な客引き行為等の根絶に向けた取組みを実施する。 ・客引き行為等が悪質化しているミナミ地区において、特命チームとして指導員を増員する。</p>
<p>空家等に関する対策の 推進</p> <p><b>【進捗状況：順調】</b></p>	<p><b>【特定空家等の是正】</b> ・特定空家等の解体や補修等による是正を実施（214件）</p>	<p><b>【課題】</b> ・目標値を大幅に上回る是正件数を達成している。</p> <p><b>【今後の対応方向】</b> ・引き続き、各取組みを着実に推進していくことにより、安全、景観、防犯等の生活環境の確保に取り組む。</p>

## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる）

地域の実情に即した特色ある施策の展開と地域コミュニティの活性化

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>ICTなども含めたあらゆるチャンネルを活用した、「大きな公共」を支える担い手の拡大</p> <p><b>【進捗状況：やや遅れ】</b></p>	<p><b>【ICTを活用した地域課題解決の取組みの拡大】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用した地域課題解決のためのワークショップイベント「フェリーハッカソン」を開催（平成29年12月）</li> <li>市民参加型の地域課題解決アイデアコンテストに参加 「Re:FURO OSAKA（銭湯プロジェクト）」が、最終公開審査対象に選定 Re:FURO OSAKA・・・銭湯経営者や銭湯好き住民と、ICTの利活用により地域課題の解決に取り組む「Code for Osaka（コードフォーオオサカ）」とが連携し、アイデアづくりを進める動き</li> </ul> <p><b>【地域公共人材活用促進事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区職員・まちづくりセンター職員への制度説明</li> <li>事例共有会の開催、制度紹介資料の提供</li> <li>大阪市地域人材公共人材バンクの運営（15区で派遣、派遣件数22件、利用者満足度100%）</li> <li>地域公共人材の養成プログラムを実施</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣実績については、区によって偏りがある状況となっている。</li> <li>ICTを活用した地域課題解決の取組みのさらなる拡大に向け、事例の他区への展開や「Code for OSAKA」、「Re:FURO OSAKA」への区の参加をより積極的に進めていく必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、地域公共人材の派遣により、他の活動主体との連携協働に向け、新たな担い手の発掘など派遣先団体のニーズに応じた支援の実施事例を増やしていくとともに、派遣事例の公表など、活動内容の周知による事業の認知度向上に向けた取組みを行い、人材派遣の全区実施を推進する。</li> <li>ICTによる担い手拡大に向けて、各区における取組促進として、事例の共有や各区の実情に応じた取組みの相談などの支援を行う。</li> </ul>
<p>多様な市民や団体の連携・協働に向けた地域社会におけるネットワークづくり</p> <p><b>【進捗状況：やや遅れ】</b></p>	<p><b>【市民活動総合支援事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「市民活動総合ポータルサイト」を活用した資源情報の発信（901件）</li> <li>総合相談窓口における資源情報とのコーディネート</li> <li>交流の場の開催（6回）</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動団体、区役所、まちづくりセンターなどによる、市民活動総合支援事業の活用をさらに進める必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後の対応方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「市民活動総合ポータルサイト」への資源情報の収集をより積極的に進める。</li> <li>「市民活動総合ポータルサイト」の周知を行い、活用を促進する。さらに、より身近なところで相談や交流会を提供できるよう、各区での相談窓口と市民活動総合相談窓口との連携を深めるとともに、各区においても交流の場の提供をめざす。</li> <li>さらなる連携協働の創出に向けて、「交流の場」での対話後も参加者が継続的なつながりを保つ仕組みとして、一過性に終わらない継続的な交流の場となるプラットフォームを構築する。</li> </ul>



## 2 具体的な施策の主な取組みと成果

### 具体的な施策（健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる） 地域の実情に即した特色ある施策の展開と地域コミュニティの活性化（つづき）

具体的な施策	平成29年度の主な取組みと成果	課題と今後の対応方向
<p>西成特区構想</p> <p>【進捗状況：概ね順調】</p>	<p>【あいりん地域環境整備の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの不法投棄抑制に向けた巡回・啓発</li> <li>・通学路に設置した防犯カメラの管理運営</li> <li>・安全対策拠点の施設整備</li> <li>・自転車置場の整備及び長期放置自転車の撤去</li> <li>・野宿生活者の自立支援</li> </ul> <p>【プレーパーク事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年4月15日から平成30年3月26日までの期間に83日間開催（来場者数数11,079人・1日平均133人の来場）</li> </ul>	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の地域からの誘引と合わせて、現に居住している子育て世代が定着しやすくなるような、身近な地域で安心して子育てできる環境を作る必要がある。</li> <li>・あいりん地域が抱える様々な問題を解決する必要がある。</li> </ul> <p>【今後の対応方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、官と民の協働による、あいりん地域の環境改善を推進するとともに、地域についての正しい情報の発信に努める。</li> <li>・プレーパーク事業については、平成30年度より本格実施を行う。引き続き内容の充実に取り組んでいく。</li> </ul>
<p>地域の教育コミュニティの活性化</p> <p>【進捗状況：概ね順調】</p>	<p>【学校配置の適正化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南港緑小学校、南港渚小学校2校を統合し、南港みなみ小学校を新設（南港南中学校と併せて咲洲みなみ小中一貫校を開校）</li> </ul>	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市学校適正配置審議会の答申の中で、速やかに統合に向けた調整を進める必要があるとしている規模の小中学校での取組みを進めているものの、保護者や地域の理解を得られず、再編プランが確定していない学校がある。</li> </ul> <p>【今後の対応方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、保護者や地域に対しての説明や協議を行い、学校配置の適正化を推進していく。</li> </ul>